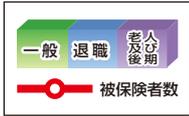
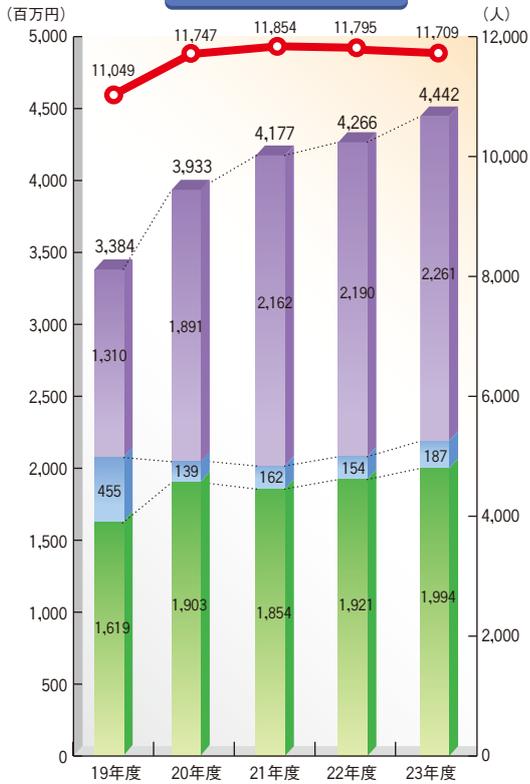


# 益子町

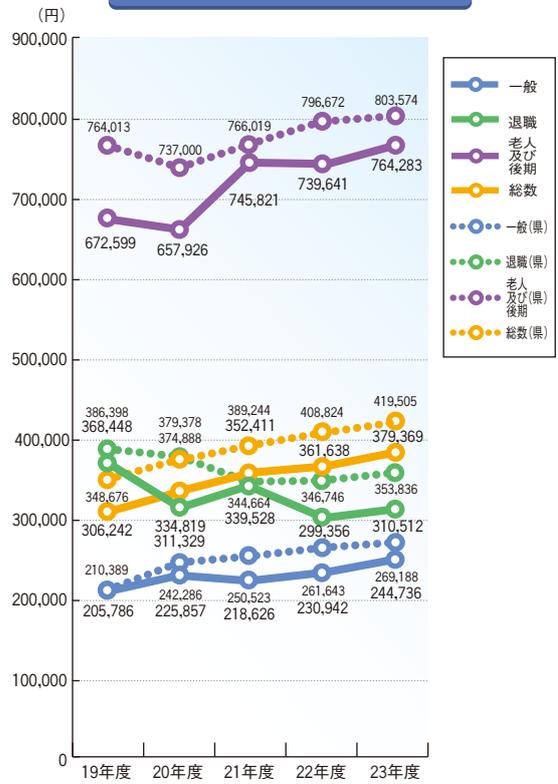
# 益子町



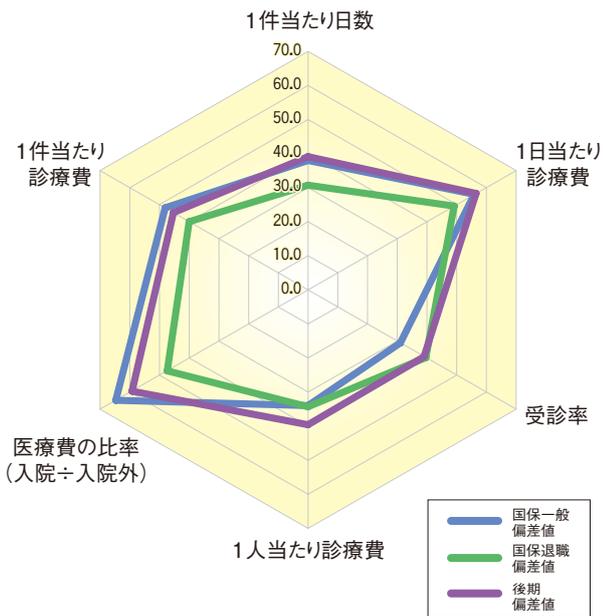
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

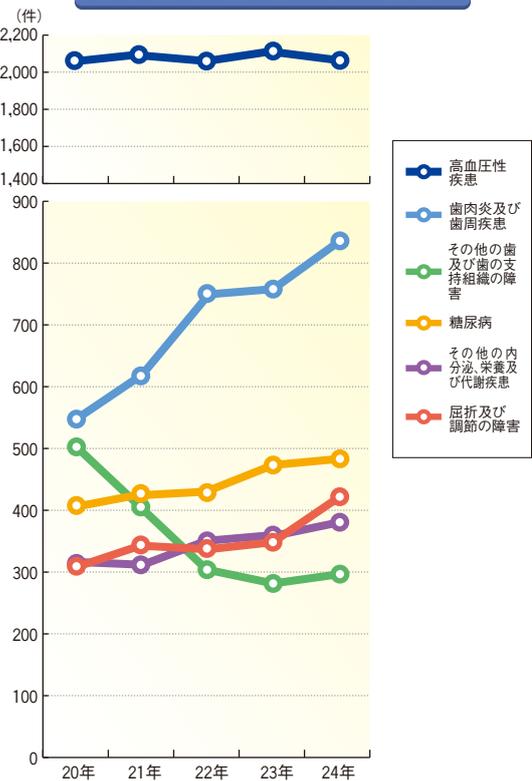


## 平成23年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

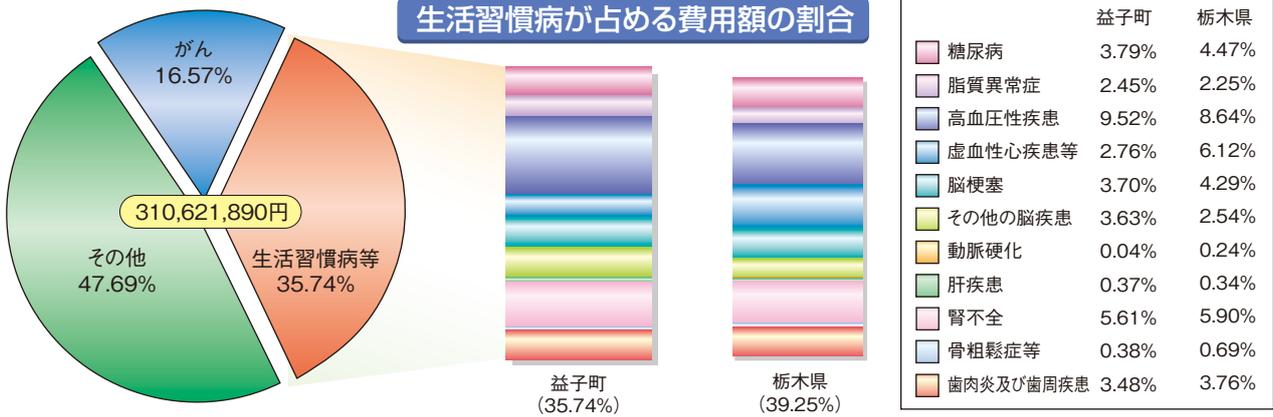
## 多受診疾病上位6位の推移



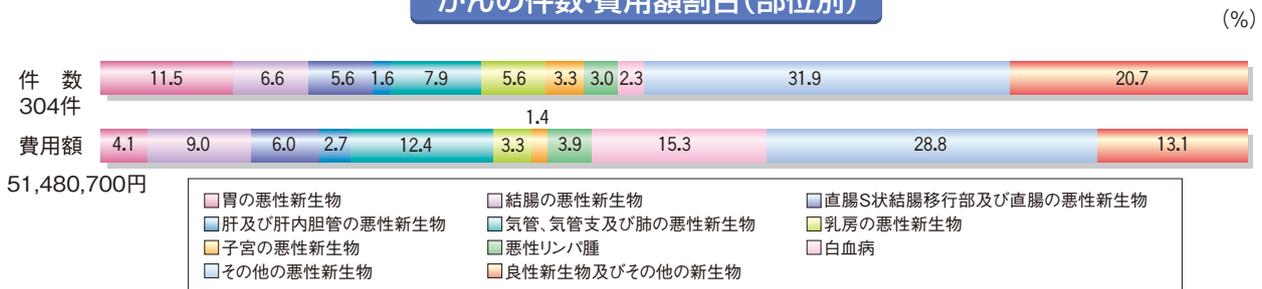
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 益子町の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,994,350千円(103.8%)、退職186,928千円(121.0%)、後期2,260,749千円(103.2%)で、全体では4,442,028千円(104.1%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は11,709人で、内訳は一般8,149人、退職602人、後期2,958人である。前年度と比較すると全体で99.3%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は379,369円(17,731円増)、一般は244,736円(13,794円増)、退職は310,512円(11,156円増)、後期は764,283円(24,642円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、退職がすべての諸率で平均を下回る低い偏差値となっている。一般及び後期は、1日当たり診療費と医療費の比率以外、いずれも低い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は年々増加しており、平成20年と比べ、件数は1.5倍、費用額は1.9倍になっている。

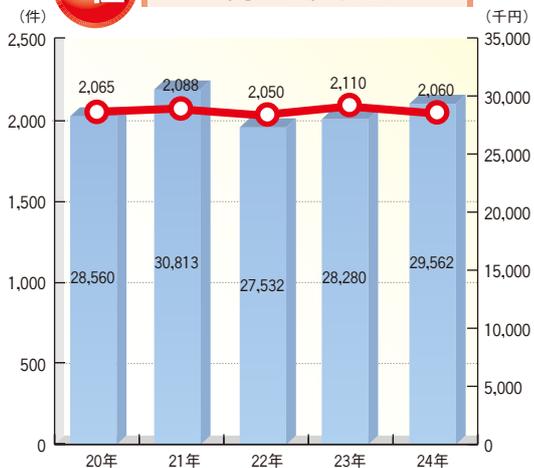
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、高血圧性疾患は高く、虚血性心疾患も年々増加している。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が310,621,890円で、がんが16.57%、生活習慣病関連が35.74%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.52%、腎不全5.61%、糖尿病3.79%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では白血病が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

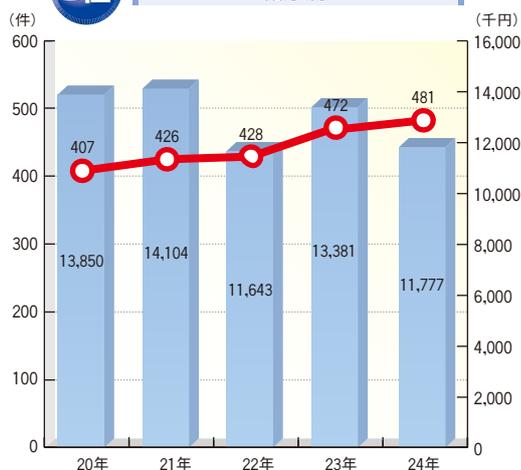
## 1位 高血圧性疾患



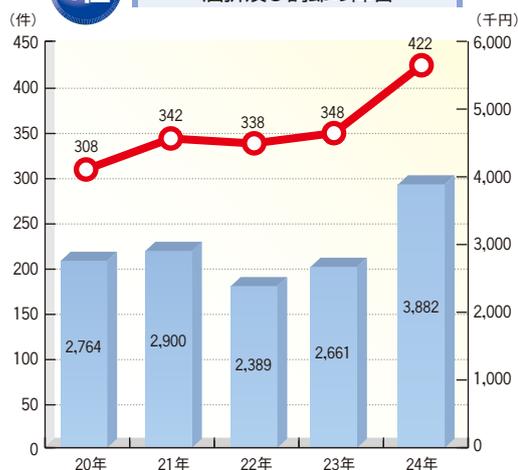
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



## 3位 糖尿病



## 4位 屈折及び調節の障害



## 5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

